

令和6年度 玉垣小学校 第1回学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年5月23日(木) 16:00～17:00

2 場 所 玉垣小学校 図書室

3 あいさつ

(1) 委員長

- ・ 鈴鹿市のコミュニティスクール平成23年から、40校で始まった。
- ・ 子どもたちをどのように育むか、考えていきたい。

(2) 学校長

- ・ 今年度は、初めて千代崎中との合同開催も考えている。
- ・ 朝、挨拶をしても3学期から、4月、5月と引き続きよく声が聞こえている。
- ・ 4月当初から、トイレの足型もペンキで塗りなおしていただいた。地域の力を感じる。子どもたちは足型があることで、スリッパの整頓にも取り組みやすい。
- ・ 市内では旭が丘の次に大規模、785名が少しでも楽しく来られるように。

(3) 自己紹介

4 協議事項 (○：委員の発言 ●：回答等)

(1) 令和6年度学校経営方針

ア 学校から説明

- ・ 教科指導の根本に、学級づくりがある。授業づくりと学級づくりの両輪が大切。
- ・ 自己肯定感を高める集団づくりは人権教育のメインとなる。
- ・ ほっとルームの活用、今年度は場所も校長室から北館2階へ移動し支援にあたっている。対象の児童の居場所として、大切な場になっている。
- ・ チーム担任制で、学年の教員が全員で、児童に丁寧に対応していく

イ 協議内容

- 個別最適な学びにおいて、自己選択させる場とは何か。
- 目的、ゴールに向かう道筋は全員同じではなく、その道筋を児童に選択させる場が必要であるということ。
- 先生たちの時間外労働の数が多いが、目標0に向かうことは大変ではないか。
- 基本方針の1にもあるように、教職員の心身の健康が児童の成長にはとても影響がある。勤務時間の縮減に向け、取り組んでいきたい。

(2) 令和6年度学校関係者評価にかかる目標部分

学校から説明

- ・ 非認知能力の育成には、今年から取り組む。数値で表れにくいですが、日ごろからの指導を大切にしていく。
- ・ 特別支援教育コーディネーター部を中心に、特別支援教育の視点を持ち、早期支援体制づくりを推進する。

(3) 令和6年度学校配当予算

- 講師謝礼は予算が0円だが、どうするのか。
- 市や県から謝礼がいない方を中心に講師としてお願いし、研修会を実施していく。

(4) 令和6年度年間行事計画

- ・ 資料をご覧ください、

(5) 教職員の働き方改革

学校から説明

- ・ 教員の数少なく、なり手も少ない現状である。産業医の助言も得ながら、教員の多忙感を減らす努力をしている。
- ・ 「学校が担う業務の3分類」から考えても、登下校や放課後、土日に起こった児童のトラブルは本来学校の業務ではないが、学校が対応せざるを得ない現状がある。地域で協力してもらうことも考えられないか。

5 意見交換

- 地域でも子どもへの声かけがしづらくなってきた。
- 不審者と思われるようなこともあるので「学校関係者」という腕章を巻くのも1つの方法である。
- 朝よりも帰りの事故が心配である。
- クラクションを鳴らすとにらんでくる子やマナーが悪い児童も時々いる。

6 その他

- ・ 次回は6月27日 木曜日、16時から。
また、第3回については8月ではなく、9月に千代崎中学校区の合同運営会議を考えている。詳細については未定。
- ・ 年間の回数は6回そのまま変更なし。